

拡張DNSエラーに対する包括サポートについて

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

[サポートされるエラーコード](#)

[回答例](#)

はじめに

このドキュメントでは、拡張DNSエラーに対するCisco Umbrellaのサポートについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

概要

Cisco Umbrellaは、拡張DNSエラーに関するこの[IETFドキュメント](#)で定義されているように、拡張DNSエラー(EDE)の事前サポートを発表しました。

Umbrellaの初期サポートは、SERVFAIL応答のDNSSECエラーコードに重点を置いています。Umbrellaは、今後その他のエラーコードとエラーコードのテキスト表現のサポートを追加する予定です。

サポートされるエラーコード

コー	[名前(Name)]	サポー	エラーが発生しました
----	------------	-----	------------

ド		ト	
0	その他	いいえ	
1	サポートされていない DNSKEYアルゴリズム	Yes	DNSKEYアルゴリズムはサポートされていません。
2	サポートされていない DSダイジェストタイプ	Yes	DSダイジェスト型はサポートされていません
3	古い応答	いいえ	
4	不正解	いいえ	
5	DNSSEC不確定	いいえ	
6	DNSSEC偽	Yes	・ 関連するすべてのレコードが見つかり、検証に失敗した場合（署名ハッシュが一致しなかった場合） ・ RRSIG署名者/所有者の不一致 ・ RRSIGが無効です ・ 否定証明は無効ですNXDOMAINが予期されたNODATAが見つかりました。逆も同様です ・ 署名付きゾーンに到達しましたが、委任ポイントに到達していません。
7	署名の有効期限が切れました	Yes	RRSIGはDNSKEY（keytagおよびalgorithm）に一致しましたが、期限切れの署名があります
8	署名はまだ有効ではありません	Yes	RRSIGはDNSKEY（keytagおよびalgorithm）に一致しましたが、署名開始時刻が過ぎています。
9	DNSKEYがありません	Yes	DNSKEYに一致するDSが見つかりません。
10	RRSIGがありません	Yes	DNSKEY（keytagおよびalgorithm）と一致するRRSIGが見つかりません。
11	ゾーンキービットが設定されていません	Yes	DNSKEYにゾーンビットが設定されていない場合。
12	NSECがありません	Yes	否定証明が見つからないか、不十分です。
13	キャッシュエラー	いいえ	
14	受信不可	いいえ	
15	Blocked	いいえ	
16	検閲	いいえ	
17	フィルタ	いいえ	
18	禁止	いいえ	
19	古いNXDOMAIN応答	いいえ	
20	権限なし	いいえ	
21	サポート対象外	いいえ	
22	到達可能な機関なし	いいえ	

23	network error	いいえ	
24	無効なデータ	いいえ	

回答例

拡張DNSエラーを返すクエリでは、OPTコード15を使用してEDNSセクションにエラーコードを表示できます。たとえば、次のクエリでは、「DNSSEC Bogus」エラーに対応するエラーコード6が返されます。

```
; <<>> DiG 9.11.5-P4-5.1+deb10u1-Debian <<>> +dnssec +nocrypt bogus.d2a10n3.rootcanary.net @m81.sjc.openstack.org
```

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。